

天人语 声集萃

黄力游 林翠芳 编

含
MP3盘
一张



外语教学与研究出版社

天声人语

集萃

夏丏尊 著 巴金 译



上海译文出版社

H369.4/130D

2007

天声人语 集萃

黄力游 林翠芳 编

含
MP3 盘
一张



外语教学与研究出版社
北京

图书在版编目(CIP)数据

天声人语集萃 / 黄力游, 林翠芳编. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2007.7

ISBN 978-7-5600-6844-2

I. 天… II. ①黄… ②林… III. 日语—语言读物 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2007) 第 108958 号

出 版 人: 于春迟

责任编辑: 田秀娟

版式设计: 蔡 颖

插图设计: 张 峰

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com>

印 刷: 北京双青印刷厂

开 本: 850×1168 1/32

印 张: 11.75

版 次: 2007 年 8 月第 1 版 2007 年 8 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 978-7-5600-6844-2

定 价: 29.90 元 (含 MP3 盘一张)

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

天声人语

是日本《朝日新闻》具有百年历史的品牌栏目（注）。它固定地排在这份报纸头版的下方，呈一长方形状。为节省篇幅，段与段之间仅用一个符号“▼”隔开。它之所以长盛不衰、受到读者的青睐，是由于该栏目言简意赅（每篇大约750字）、脍炙人口，内容涉及政治、经济、文化、教育、体育、人物、环境、科学、医疗、社会事件等各个方面。

《天声人语》由固定的专栏作家撰写。除了休刊日以外，每天刊登一篇，没有标题，也不登作者的名字。由于它被公认为日本的规范文章，所以还常被用作大学入学考试、各企业招聘考试的试题。

《天声人语》的意思是“天之声，人之声”。在《朝日新闻》的英文版中被译为拉丁语“VOX POPULI, VOX DEI”，意为“民之声，神之声”。

日本的原书房出版社把每年的《天声人语》日英文版合订起来，每篇文章根据内容标出新的标题，分春、夏、秋、冬4辑出版，到目前为止，已编辑了100多辑。另外，有些出版社将其中的精华文章编辑成册。现在呈现在读者面前的就是我们这些《天声人语精华集》中选出来的。所选文章力求有趣、予人以启迪。这些文章的时间跨度比较大，从上世纪90年代初起到本世纪的2006年为止。这样，读者可以从比较广的面上看到不同时期的精华文章。另外，时间跨度虽然大，但这些精华文章并不受其影响，可读性很强。如「酒人を飲む」一文虽然写于1996年，但它所写的事情、所寓的道理，即使在今后10年、甚至20年后重读，也会觉得趣味盎然。文中说，酒适量喝的话，就是“人喝酒”，有益于健康。但是，过了量，就是“酒喝人”，

即酒可以把人毀掉。

大量阅读无疑对外语学习者提高外语水平大有裨益。此书每篇分原文部分和学习部分。学习者可以先看一遍原文部分，看看可以看懂多少，然后再看学习部分。学习部分按段分节，每节包括译文、单词和例句。由于篇幅所限，例句一般仅列两个。有些单词如果和汉语的意思完全一样，就不再列出，如：奴隸→奴隶、女婿→女婿、恋人→恋人、視線→视线、孫→孙子等等，这和译文一对即可明白。译文尽量紧扣原文，这样可以帮助学习者加深理解。总之，日语初、中、高级程度的读者都可以学习或阅读此书。即使不懂日语，也可仅读译文，从中可以领略到典型的、有日本特色的文风，以及了解日本人对各种事物的看法，这也许不无趣味。

最后，我们要特别提到的是，编辑这本书得到了《朝日新闻》社的鼎力支持。没有他们的支持，出版这本书是不可能的。在此，我们代表广大读者向《朝日新闻》社为我们提供了一个良好的学习园地表示衷心的感谢！

黄力游 林翠芳

2006年12月

注：这个栏目有点像上个世纪60年代初《北京晚报》开设的《燕山夜话》栏目，为《燕山夜话》撰写杂文的是原《人民日报》总编辑、著名专栏作家邓拓先生（1912—1966）。

第一篇	不義理の日	1
第二篇	体育の授業	13
第三篇	酒人を飲む	26
第四篇	睡眠不足	41
第五篇	世襲	54
第六篇	雨をオアシスに	71
第七篇	車づくり一筋	84
第八篇	ロシア人操縦士	101
第九篇	ひとの支え	116
第十篇	介助犬ブルース君	127
第十一篇	アイ・コンタクト	141
第十二篇	春眠暁を覚えず	154
第十三篇	文化的衝撃	168
第十四篇	ロスの「幼児虐待」事件	180
第十五篇	アレックス・ヘイリー氏	192
第十六篇	車中の光景	205
第十七篇	現代を映す若者たち	217
第十八篇	自動化の凶器に囲まれた現代	230
第十九篇	屋上の怪物像	242
第二十篇	日本人とお茶	253
第二十一篇	内閣官房長官	264
第二十二篇	匂いによる警報装置	276

第二十三篇	交通渋滞	287
第二十四篇	英語聞き取りテストの登場	299
第二十五篇	湯たんぼ	310
第二十六篇	ライブドアに強制捜査	320
第二十七篇	証人喚問の沈黙が語るもの	332
第二十八篇	違法な高利にメス	343
索引		355

原文部分:

不義理の日

英国のBBC放送がこう報じたことがある。「英国国会議事堂の大時計がデジタル化されることになりました。長針と短針が不要となります。聞いて下さっている人に進呈したいので希望者は申し込まれたし……」。

日本語放送だった。国際放送を聴いている人は多い。日本から申し込みが殺到した。だが残念、エープリルフールとわかった。

4月1日に罪のない冗談で人をかつぐ。欧米で盛んだが、インドに発する風習との説もある。いわゆる4月馬鹿。中国から日本に伝わった江戸時代の呼び名が面白い。「不義理の日」といった。

四角四面の毎日、たまには不義理、ふまじめもよからう、との趣旨だろうが、根っから緊張好きな人々の国なのだろうか、あまりはやらない。いや、日常の政治で、うそは十分だという人もいるかも知れぬ。欧米では、この日、報道機関まで冗談や

虚報をさりげなく報じるから油断がならない。

大企業の合併。有名人の恋。もっともらしいが、想像力と遊び心の産物だ。「紙面の日付をごらんください」と何げなく記してあって、それと知れる。

やはりBBCの日本語放送が「このほどコマーシャルを入れることになりました」と放送したことがあった。「関心のある企業はどうぞ」。つい、ひっかかる企業が出る。

ところでBBCといえば、その日本語放送は歴史が古く、人気が高かった。それが3月に廃止となった。毎日聴いている人が10年前の約半数、20万人ほどに減った、というのが理由らしい。戦時中の1943年（昭和18年）に対日宣伝放送として始まったものだ。

同様に、ラジオ・カナダ・インターナショナル（RCI）の日本語放送が、先月、廃止された。存続を願った人々の夢もついていた。経済削減が理由だ。これも時代だろうか。さびしく思う人が多いに違いない。

何？ いや、すべて本当の話である。

1991年4月1日

第1节

不義理の日

英国のBBC放送がこう報じたことがある。「英国国会議事堂の大時計がデジタル化されることになりました。長針と短針が不要となります。聞いて下さっている人に進呈したいので希望者は申し込まれたし……」。

日本語放送だった。国際放送を聴いている人は多い。日本から申し込みが殺到した。だが残念、エープリルフールとわかった。

译文

愚人节

英国广播公司曾这样报道：“英国国会大厦的大钟将要换成数码钟（直译：将要数码化）。长针、短针都不要了。现准备（把这两支针）送给正在收听广播的人，需要者请申请……”

广播用的是日语。听国际广播的人很多。从日本来的申请纷至沓来。但遗憾的是，这只是“四月愚人节”的一个节目。

生词&例句

【不義理】(1)不合情理，不讲情义。(2)借钱不还。

<例句> あいつは本当に不義理なやつだ。⇒ 那小子真是个没情没义的家伙。

【BBC】British Broadcasting Corporation. 英国广播公司。

【報じる】报道，报导。

<例句> 時刻を報じる。⇒ 报时。

テレビのニュースが報じるところによれば。⇒ 根据电视新闻报道。

【デジタル】digital。数码。

<例句> デジタル・カメラ。⇒ 数码相机。

【下さる】敬语。相当于「してくれる」。此处为现在进行时。

<例句> 先生もご出席下さるそうです。⇒ 听说老师也要出席。

わざわざおいで下さって恐縮です。⇒ 承蒙您专程前来，真过意不去。

【進呈】赠送，奉送。

<例句> 無料進呈。⇒ 免费赠送。

ご入用なら1部進呈しましょう。⇒ 您需要的话，就送您一本。

【申し込む】申请，报名。（注意：名词形式为「申し込み」。原文中的「申し込まれた」用的是被动语态，表示尊重，属敬语。）

<例句> 工場見学を申し込む。⇒ 报名参观工厂。

早目にお申し込み願います。⇒ 请尽快报名。

【殺到】涌来，蜂拥而至。

<例句> 志願者が殺到する。⇒ 报名者蜂拥而至。

苦情の電話が殺到する。⇒ 投诉电话不断。

【エープリルフール】April Fool，也作April Fools' Day。日语为「4月馬鹿」，意为“四月愚人节”。

第2节

4月1日に罪のない冗談で人をかつぐ。欧米で盛んだが、インドに発する風習との説もある。いわゆる4月馬鹿。中国から日本に伝わった江戸時代の呼び名が面白い。「不義理の日」といった。



译文

在4月1日开玩笑耍弄一下人是没有罪的。据说这个节日盛行于欧美，但也有起源于印度之风俗的说法。这就是所谓的“四月愚人节”。在江户时代从中国传到日本叫法很有意思，叫“不义理之日（愚人节）”（直译：不合情理的节日）。



生词&例句

【冗談】(开) 玩笑。

<例句> 冗談を真に受ける。⇒ 把玩笑当真。

子供にはうっかり冗談も言えない。⇒ 不要随便跟小孩儿开玩笑。

【かつぐ】【担ぐ】耍弄，使上当。

<例句> すっかりかつがれた。⇒ 上了大当。

君はかつがれたんだよ。⇒ 你被耍了。

【盛ん】(～に・～な) (1) 积极，热烈。(2) 繁荣，繁盛。

<例句> 工業の盛んな町。⇒ 工业繁荣的城镇。

適度の運動は血液の循環を盛んにする。⇒ 适当的运动可以促进血液循环。

【いわゆる】【所謂】所谓的，所说的。

＜例句＞ ああいう人がいわゆる戦後派だ。⇒ 那些人就是所谓的“战后派”。

彼らのいわゆる「成功」は意味がない。⇒ 他们所说的“成功”没有意义。

【馬鹿】【莫迦】(1)愚蠢。(2)傻瓜，笨蛋。

＜例句＞ 人を馬鹿にする。⇒ 愚弄人。

あいつは馬鹿だ。⇒ 那家伙是个笨蛋。

【伝わる】传来，传到。

＜例句＞ 鉄砲は1543年に日本に伝わった。⇒ (步) 枪于1543年传到日本。

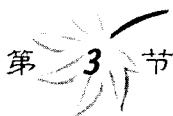
仏教は中国から日本に伝わったものである。⇒ 佛教是从中国传到日本的。

【呼び名】通称，惯称。

＜例句＞ 岩木山は津軽富士の呼び名で呼ばれている。⇒ 岩木山被惯称为津轻富士。

名前は榎本健一だが、呼び名は「えのけん」だった。

⇒ 我的名字叫榎本健一，但（大家）都习惯叫我“Enoken”。



第 3 节

四角四面の毎日、たまには不義理、ふまじめもよからう、と

の趣旨^{しゆし}だろうが、根っから^ね緊張^{きんちやうず}好きな人々^{ひとびと}の国^{くに}なのだろうか、
 あまりはやらない。いや、日常^{にちじやう}の政治^{せいじ}で、うそは十分^{じゆうぶん}だという
 人もいるかも知れぬ。欧米^{おうべい}では、この日^ひ、報道機関^{ほうどうきかん}まで冗談^{じやうだん}や
 虚報^{きやうほう}をさりげなく報^{ほう}じるから油断^{ゆだん}がならない。

大企業^{だいぎぎやう}の合併^{がっぺい}。有名人^{ゆうめいじん}の恋^{こい}。もっともらしいが、想像力^{そうぞうりよく}と遊^{あそ}
 び心^{ごころ}の産物^{さんぶつ}だ。「紙面^{しめん}の日付^{ひづけ}をござんください」と何げなく^{なに}記^しし
 てあって、それと知れる。



译文

每天过得一本正经，偶尔闹一闹，这未尝不可。但对于本来就喜欢（气氛）紧张的那些国家的人来说，他们一般不这样做。也许有人会这样说：在日常政治生活中，谎言已经够多的了。在这一天，欧美的新闻媒体坦然自若地报道一些含玩笑成分的、甚至虚假的消息，大家不能信以为真（直译：不能大意）。

大企业合并。名人恋情。这些报道看上去像是那么一回事，但实际上是想象力和“闹剧”（直译：玩儿心）的产物。在这些文章中无意写道：“请看报纸的日期”，所以（只要注意一下），就知道怎么回事了。



生词&例句

【四角四面^{しかくしめん}】一本正经，规规矩矩。

<例句> 四角四面^{しかくしめん}な人^{ひと}。⇒ 过于拘谨的人。规规矩矩的人。
 四角四面^{しかくしめん}にあいさつする。⇒ 拘谨地致词。

【よかろう】相当于「よいだろう」。可以了吧，未尝不可。

<参考> やすかろう、わるかろう。⇒ 一分钱，一分货。便宜无好货。

【趣旨】(1)宗旨，旨趣。(2)主要内容，中心思想。

<例句> 募金の趣旨。⇒ 募捐的宗旨。

この文章の趣旨はよくわからない。⇒ 不太明白这篇文章的中心思想。

【根っから】本来，天生。

<例句> 根っからの商人。⇒ 天生的商人。

彼は根っからの悪人ではない。⇒ 他并非天生就是坏人。

【いや】【否】(表示否定) 不，不对。

<例句> それは百円、いや10円の値打ちもない。⇒ 那东西值100日元，不，应该说连10日元都不值。

彼は同意した。いやむしろ反対したというわけではなかった。⇒ 他同意了。不对，不如说他并没有反对。

【知れぬ】相当于「知れない」。不明白，不知道。

<例句> 明日をも知れぬ命。⇒ 不知明天还会不会活在世上。

どんなに心配したか知れない。⇒ 不知有多担心。

【さりげない】毫不在意，若无其事。

<例句> さりげなくたずねる。⇒ 若无其事地问。

さりげない調子で言う。⇒ 以毫不在意的口气说。

【油断】大意，疏忽。

<例句> 油断大敵。⇒ 粗心大意害死人。切勿麻痹大意。务必提高警惕。

あの男に油断するな。⇒ 对那个男的你要小心。

油断しているすきに財布をすられた。⇒ 稍一疏

忽钱包就被偷了。

【もっともらしい】好像很有道理，煞有介事。

<例句> もっともらしくうなずく。⇒ 煞有介事地点点头。
 もっともらしいことばで人^{ひと}をだます。⇒ 用听起来好像很有道理的话来骗人。

【何^{なに}げない】【何^{なに}気ない】【何^{なに}気無い】(1)无意。(2)若无其事，坦然自若。

<例句> 何^{なに}げなく言^いったこと。⇒ 无意说出的话。
 彼は何^{かれ}げない様子^なで席^{ようす}についた。⇒ 他若无其事地坐了下来。

【記^{しる}す】记，写。

<例句> ノートに記^{しる}す。⇒ 记在本子上。
 その事^{こと}はこの本^{ほん}には何^{なに}も記^{しる}されてない。⇒ 关于这件事，本书中没有任何记载。

第4节

やはりBBCの日本語放送が「このほどコマーシャルを入れることになりました」と放送したことがあった。「関心のある企業はどうぞ」。つい、ひっかかる企業^{きぎょう}が出る。

ところでBBCといえ、その日本語放送は歴史が古く、人気が高かった。それが3月に廃止となった。毎日聴いている人が10年前の約半数、20万人ほどに減った、というのが理由らしい。戦時中の1943年(昭和18年)に對日宣伝放送として始まっ